

STだより④

子どものことばを育むコツ
～①子どもを見守る大人の姿勢編～

子どものことばを育むコツとして

①子どもを見守る大人の姿勢（SOUL）

②大人が関わる時の具体的なテクニック（INREAL）
があります。

今回は ①子どもを見守る大人の姿勢（SOUL） を紹介します。

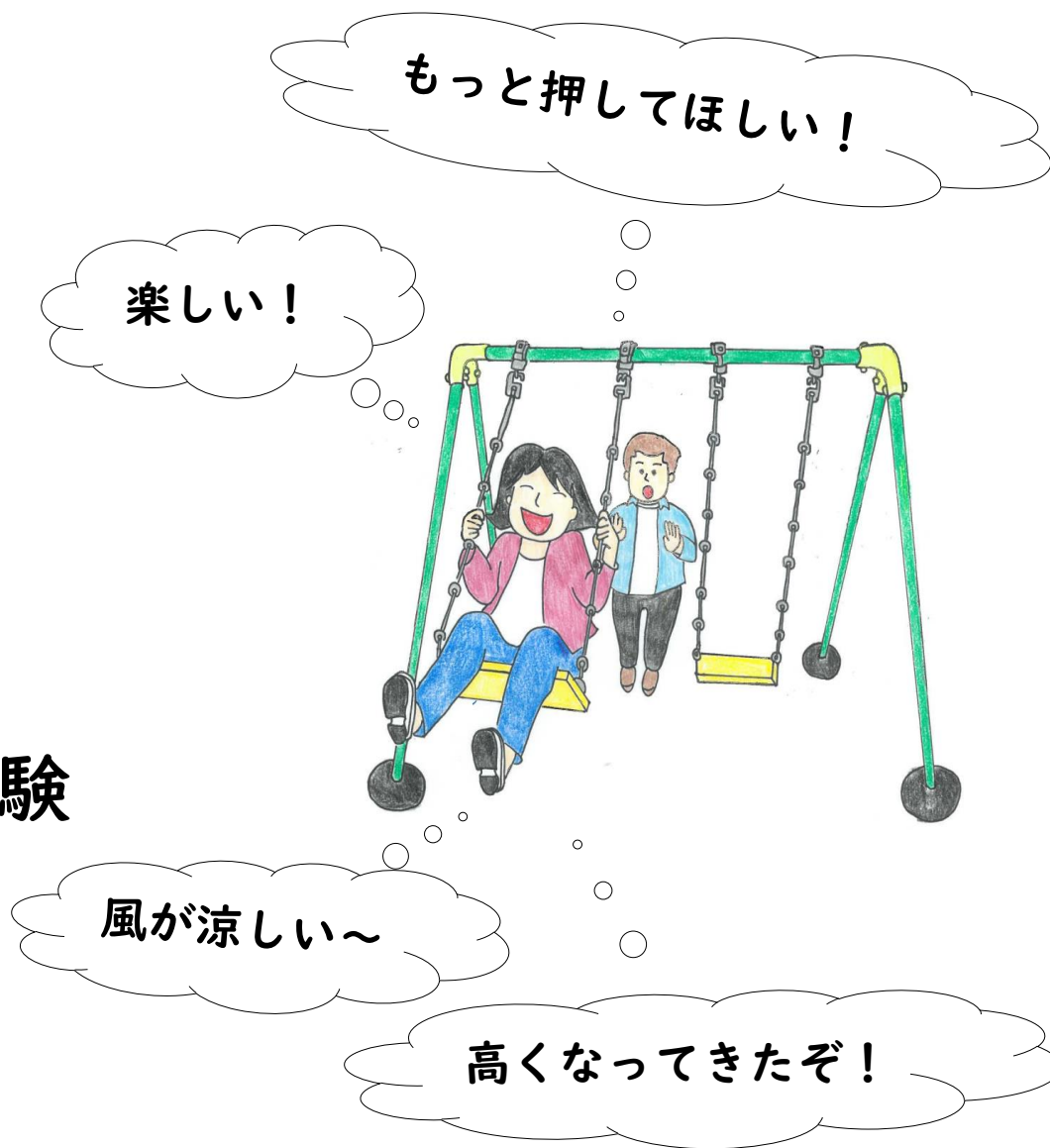
●前回までの振り返り●

ことばを育むには・・・

- ・規則正しい生活
- ・安定した親子関係
- ・体を十分に動かすことや手先の活動
- ・ことばや音にしっかり反応する
- ・聞く力を育てる
- ・体験を通して様々な気持ちを感じる経験

これら土台となる部分が育つことで
ことばも育まれていきます。

→詳しくは[STだより③](#)をご覧ください



●子どもを見守る大人の姿勢（SOUL）とは… ●

子どもが場や人に慣れ、自然で生き生きと自分らしさを発揮できるような環境を提供するための大人の姿勢のことです。

◇ 静かに見守ること(Silence)

◇ よく観察すること(Observation)

◇ 深く理解すること(Understanding)

◇ 耳を傾けること(Listening)



具体的な例を挙げて説明していきます。

◇ 子どもが場面に慣れ、自分から遊びだしたり何かを始めるまで
静かに見守りましょう。



自分から遊具に
行った！



楽しそうに見ているな～



遊びのスタートは子どもから！
子どもの好きな物や遊びたい物から始めてみましょう♪

◇ 何を考え、何をしているのかよく観察してみましょう



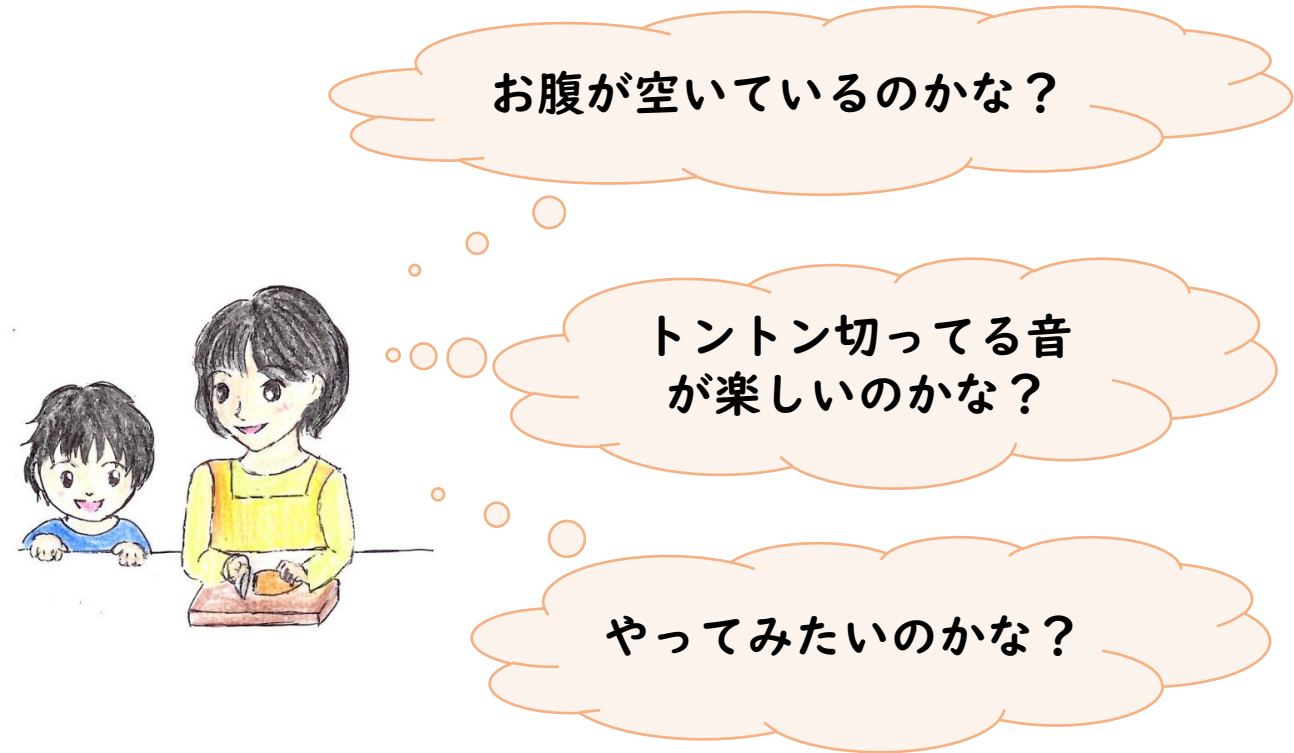
観察のポイントは
人に伝えようとする気持ち・やりとりする力・子どもの気持ちの揺れ動き
分かっている事・体の使い方などです

◇ 観察し感じたことから子どものコミュニケーションについて理解し、どのような援助ができるか考えましょう



言葉やジェスチャーで伝えてあげたり
一緒に遊んで、モデル(見本)になってあげましょう♪

◇ 子どもの話すことばだけでなく視線や表情、指差しなどにも十分に耳を傾けましょう



子どもの『伝えたい』気持ちを大切にしましょう♪

●まとめ●

- ・子どものことばを育むために、子どもを見守る大人の姿勢(SOUL)を意識してみましょう
- ・ことばの育ちや聴こえのことで気になることがあれば、園の先生や乳幼児健診、地域の保健師、かかりつけの小児科等で相談してみてください。



次回

「子どものことばを育むコツ
～②大人が関わる時の具体的なテクニック(INREAL)～」
をお伝えします。



●参考・引用文献●

- 1) 中川信子 著.「ことばをはぐくむ 発達に遅れのある子どもたちのために」ぶどう社
- 2) 竹田契一, 里見恵子 著.「インリアル・アプローチ子どもとの豊かなコミュニケーションを築く」日本文化科学社
- 3) 河内清美, 石井喜代香, 大垣徳子, 永安香, 松尾育子 著. 竹田契一監修「インリアル・アプローチ事典」薫化舎出版会

※イラストの無断転載はお控えください